

令和5年度包括外部監査結果に基づく措置の状況
 防災、危機管理に関する事務の執行について

対応区分 「措置済」 措置が完了したもの又は具体的な対応方針・内容が決定しているもの
 「対応中」 具体的な対応方針・内容について検討中であるもの
 「不措置」 措置する必要がなくなったもの、合理的な理由により対応しないもの、
 市としては適切な処理であると認識しているもの又は措置不能なもの等
 措置を講じないことを決定したもの

頁	区分	項目	指摘事項・意見（抜粋）	担当部署 （所管課）	対応 区分	措置状況・理由
80	意見 20	第3章 監査結果における指摘及び意見 第1 災害対策 4. 監査結果 (9) 倉敷市国土強靱化地域計画について	学校施設は避難所として長期使用されることが想定され、災害発生時断水等で洋式便器に設置して使用する携帯トイレ等は設置が容易であり、多人数の避難者があっても対応が容易となるため、トイレの洋式化を進め、令和7年度の目標値60%に対し、令和4年度末時点で53%となっており、着実に積み上げられているが、災害発生時の避難所運営の観点から、長期的な目標としてより高い洋式化率100%を目標として実施して行くことが望ましい。	教育施設課	対応中	小中学校のトイレの洋式化率については、倉敷市第七次総合計画のまちづくり指標では、目標値を令和7年度の目標値60%、令和12年度の目標値80%と定めており、計画的に取り組んでいるところです。今年度は、小学校9校、中学校4校のトイレ改修工事を行っているところであり、令和6年12月末現在での洋式化率は、58.6%となっております。今後も引き続き、トイレの整備について、災害発生時の避難所運営の観点を取り入れつつ、児童生徒等が安心して過ごせるよう、計画的かつ適切に取り組んでまいります。

(公表日：令和7年5月29日 通知日：令和7年5月2日 倉市教教企第9号)